

鎌八幡宮

丹生酒殿神社の裏手にある鎌八幡宮は、三日月形の鎌が幹に深く打ち込まれている大きなイチイガシのご神木です。江戸時代（1603-1868 年）後期に編さんされた地誌である紀伊続風土記によると、これは農業や林業を営んでいた地元の人々が神々に願掛けを行った方法でした。

錆で覆われた古い鎌に混じって、いくつか新しい輝く鎌も打ち込まれていることから、この昔からの慣習は現在も続いていると見受けられます。木の保全のため、現在では神社は参拝者に願い事を鎌形の絵馬に書いてもらっています。願い事が書かれた絵馬は、ご神木の前の鳥居の近くに掛けられます。